



年 組 名前

道新でワークシート

A から流氷楽しむ

網走 B 開発へ試験事業

【網走】陸海空から流氷を堪能しながら環境問題を考える網走初のモニターツアーが6日までの3日間、斜網地区で行われた。流水観光の新しいかたちを探ろうと、市が試験事業として日本航空と実施。内容を分析し、本格的なツアーづくりを事業者に促す考えだ。

5日昼、参加者12人を乗せたチャーター機が女満別空港を発し、網走沖のオホーツク海上空を40分間飛行した。視界を遮らないよう、翼が窓より高い位置にある機体を使用。兵庫県から参加した C さん(80)は「自然の力を感じることができた。ここでしか見られない光景に感動した」と興奮気味に語った。ツアーは1泊2日で2回



チャーター機の中から眼下の流氷を写真に収めるツアー参加者

に分け、道内外の計36人が参加した。JR釧網線の季節列車「流水物語号」と流水観光砕氷船おーろら、航空機の三つに乗り、陸海空から流氷を楽しむ内容だ。

試験事業は「サステナブルツアー」として、環境問題を考える学びの要素も盛り込む。網走市のオホーツク流水館では、温暖化による流氷の減少で、約30年後

には網走に流氷が接岸しない可能性があることをガイドが説明。流水硝子館では廃蛍光灯を原料に使ったグラスの絵付けを体験した。

ツアーは観光庁の補助事業として実施した。市は参加者のアンケートや専門家の効果検証を行い、将来的に地元の旅行会社などに旅行商品の企画として勧める狙いだ。市観光課の神寛二主事は「民間事業者がツアー商品として展開できる材料を提供していきたい」と話している。

(池野上遥)

2023年2月8日(水) 朝刊 北見・オホーツク版 16ページ (記事は再編集しています)

① A、B に入る言葉を記事の中から、それぞれ3文字で書き抜きなさい。

A

B

②あなたが考える魅力的な観光ツアーについて書きなさい。

- 網走に限らず、どこを観光先としてもかまいません。
- 原稿用紙に記入する際のルールに従って書くこと。
- 300字～400字で書きなさい。

